



たくさんの観光客を乗せ、東武日光駅のホームに到着したJRの新特急列車「日光1号」

ボックスが手渡されました。選ばれた女性は「日光には常々行きたいと思っていていました。新宿から乗り継ぎがないのはとても身近に感じます。友人を誘ってまた来たいです」と話してくれました。

一方、鬼怒川温泉駅では、新宿への1号列車「スペースアキぬがわ2号」の出発式が行われました。龍王太鼓の演奏に見送られ、笑顔で乗車する皆さんには、栗山地域の九十九姫から地酒などの記念品が手渡されました。都内で観光キャンペーンを行う「親子キャラバン隊」も乗りこみ、午前8時13分、列車が拍手とともに走り出すと、多くの鉄道ファンがカメラのシャッター



花家体も繰り出し、にぎわう東武日光駅前

ターを切っていました。

また、駅前広場では「鬼怒川温泉駅前広場竣工式」が行われました。鬼怒川温泉駅前広場の整備改修工事は、藤原地区地域再生計画に基づいて平成16年度から進められてきたものです。式典とイベントは、この整備工事で新たに設けられたイベントステージを中心に、くす玉割り、郷土芸能の披露、餅つきパフォーマンスなど、盛りだくさんの内容で行われました。地元皆さんのほか、新特急で新宿から訪れた観光客の皆さんも足をとめて楽しんでいました。

駅前広場には新たに「足湯」も作られました。長旅の疲れを駅前で癒やせるとあって、観光客の皆さんに好評でした。足湯はいつでも無料で入ることができまますので、ぜひご利用

用ください。

## 親子キャラバン隊が観光キャンペーン実施

JR新宿駅では、藤原地域と栗山地域の親子41組82人で結成した「親子キャラバン隊」が、パンフレットを配るなどの観光キャンペーンを行いました。親子キャラバン隊は観光地や博物館を見学しました。参加した黒田奎貴くん(黒部)は、「久しぶりに電車に乗ったので楽しかった。電車の中は広くてとてもきれいだ。思ったより早く着いたのでよかった」と感想を話してくれました。



鬼怒川温泉駅前広場では、つきたてのお餅が無料で配られました。

日光市誕生とともに産声をあげた新特急。新しい観光客へのアピール、リピーターの増加など、多くの効果が期待されています。さらににぎわう日光市にご期待ください。



鬼怒川温泉駅前広場に作られた足湯